

2024年度

事業報告書

はじめに

私たちは地域に貢献し、子供たちに対する教育に焦点を当てることを目的に、学習塾を運営しています。経済格差や共働き世帯の増加など、様々な社会的課題に直面しながらも、地域に根ざした学びの場を提供し、教育格差の拡大を防止することを使命として事業を展開しています。以下に、2024年度の事業報告書を提出いたします。

1. 経済格差の影響による教育格差

経済格差が拡大する中、学習塾の費用が個別最適化や物価高によって増加しています。これにより、学習面での支援を受けることが難しくなっている子どもたちが増加しているという現状を受け、私たちは学習支援にアクセスできない子どもたちへの対応に注力しています。

1.1 学習支援の拡充

助成金を活用し、学習塾での生徒たちの勉強会を充実させ、生徒同士が協力し合い、共に学び合える環境を整えることを目指しています。これにより、経済的な制約を受けない学びの場を提供し、教育格差の縮小に寄与することを目指します。



1.2 学習教材と資源の提供

経済的な困難を抱える子供たちに対して、個々のニーズに合わせた学習教材の購入と印刷、学力テストの実施、筆記用具の貸し出しを行います。これにより、全ての子供たちが学習の機会を均等に享受できるよう努めます。

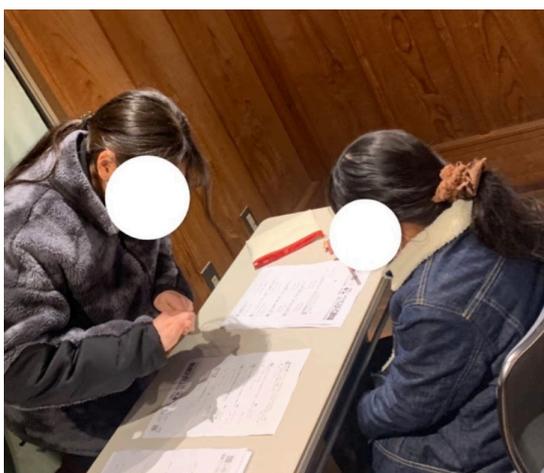


2. 共働き世帯による子供たちの居場所の課題

共働き世帯の増加に伴い、子供たちの居場所が減少している課題にも取り組んでいます。居場所がなくなることによって生じる愛着障害に対処し、学びと人間関係の機会を提供することで、子供たちが安心して成長できる環境を整えます。

2.1 学びと人間関係の機会提供

学習支援を行いながら、生徒たちが仲間と共に学び、学習支援に携わるスタッフとの良好な人間関係を築くことを重視しています。これにより、子供たちが学習塾を自分の居場所として感じ、安心して参加できる環境を提供します。



2.2 地域社会との連携

地域社会との連携を強化し、地域の課題に対しても積極的に取り組みます。地域の様々なステークホルダーと協力し、子供たちにとってより良い学びの機会を提供するために努めます。

まとめ

私たちは地域に貢献し、子供たちの教育に焦点を当て、経済格差や共働きによる課題に立ち向かっています。助成金の活用や地域との協力を通じて、子供たちが健全に成長し、学びの機会に平等なアクセスを持てるよう努力してまいります。今後も地域社会との連携を強化し、子供たちの未来へのサポートを続けてまいります。